構造物施工管理要領　（令和７年７月）　正誤表（1 / 1）

誤

構造物施工管理要領

5-4　排水装置

(1) 材　料

1) ます本体

ガラス繊維強化熱硬化性樹脂（FRP）のます本体の材料規格は、**表 5-65** によるものとする。他の材料を使用する場合は規格証明書で確認するものとする。

表 5-65 ます本体の材料

項　目	規格値等	試験方法等
１．耐荷重性	ますの側面に鉛直荷重 100kN を一様に載荷して破損しない	—
２．引張強さ	80　N/mm² 以上	JIS K 7161
３．曲げ強さ	120　N/mm² 以上	JIS K 7171
４．圧縮強さ	110　N/mm² 以上	JIS K 7181
５．引張弾性率	60　N/mm² 以上	JIS K 7161
６．耐熱性	180° C以上に５分間以上保温し、常温に冷却後寸法が**表 5-68** の許容値の範囲内であること	—
７．耐アルカリ性	5%炭酸ﾅﾄﾘｳﾑ溶液に 48 時間以上浸し、外観に変化なし	JIS K 5400
８．耐塩水性	3%食塩水に 48 時間以上浸し、外観に変化なし	JIS K 5400
９．耐揮発油性	石油ﾍﾞﾝｼﾞﾝ(JIS K 8594)に 48 時間以上浸し、外観に変化なし	JIS K 5400
１０．　〃	ﾄﾙｴﾝ(JIS K 8680)に 48 時間以上浸し、外観に変化なし	JIS K 5400

注１）項目１の試験は、メーカーごと同一配合、同一形状について、年間３個以上行う。

注２）項目２～１０の試験は、メーカーごと同一配合について１回以上行う。

2) アンカーバー

アンカーバーは**表 5-66** に示すものを使用する。

表 5-66 アンカーバーの材料

名　称	材 質	規格等
アンカーバー	SS400	JIS G 3101

3) ふ　た

グレーチング、ボルトナットおよびゴムは、**表 5-67** に示すものを使用する。

表 5-67 ふたの材料

名　称	材　質	規　格　等
グレーチング	SS400	JIS G 3101 溶融亜鉛めっき(JIS H 8641 HDZT77)
ボルトナット	SUS304	JIS G 4308
ゴム	ｸﾛﾛﾌﾟﾚﾝｺﾞﾑ	

4) 排水管

排水管に使用する材料については、規格証明書で確認するものとする。

(2) 製品検査

受注者は排水装置について、その材料、外観、寸法を下記に従って確認した後、製品検査記録表を監督員に提出するものとする。

正

構造物施工管理要領

5-4　排水装置

(1) 材　料

1) ます本体

ガラス繊維強化熱硬化性樹脂（FRP）のます本体の材料規格は、**表 5-65** によるものとする。他の材料を使用する場合は規格証明書で確認するものとする。

表 5-65 ます本体の材料

項　目	規格値等	試験方法等
１．耐荷重性	ますの側面に鉛直荷重 100kN を一様に載荷して破損しない	—
２．引張強さ	80　N/mm² 以上	JIS K 7161
３．曲げ強さ	120　N/mm² 以上	JIS K 7171
４．圧縮強さ	110　N/mm² 以上	JIS K 7181
５．引張弾性率	60　N/mm² 以上	JIS K 7161
６．耐熱性	180° C以上に５分間以上保温し、常温に冷却後寸法が**表 5-68** の許容値の範囲内であること	—
７．耐アルカリ性	5%炭酸ﾅﾄﾘｳﾑ溶液に 48 時間以上浸し、外観に変化なし	JIS K 5400
８．耐塩水性	3%食塩水に 48 時間以上浸し、外観に変化なし	JIS K 5400
９．耐揮発油性	石油ﾍﾞﾝｼﾞﾝ(JIS K 8594)に 48 時間以上浸し、外観に変化なし	JIS K 5400
１０．　〃	ﾄﾙｴﾝ(JIS K 8680)に 48 時間以上浸し、外観に変化なし	JIS K 5400

注１）項目１の試験は、メーカーごと同一配合、同一形状について、年間３個以上行う。

注２）項目２～１０の試験は、メーカーごと同一配合について１回以上行う。

2) アンカーバー

アンカーバーは**表 5-66** に示すものを使用する。

表 5-66 アンカーバーの材料

名　称	材 質	規格等
アンカーバー	SS400	JIS G 3101

3) ふ　た

グレーチング、ボルトナットおよびゴムは、**表 5-67** に示すものを使用する。

表 5-67 ふたの材料

名　称	材　質	規　格　等
グレーチング	SS400	JIS G 3101 溶融亜鉛めっき(JIS H 8641 HDZT77)
ボルトナット	SUS304	JIS G 4308
	SS400	JIS B 1180 溶融亜鉛めっき（JIS H 8641 HDZT49）
ゴム	ｸﾛﾛﾌﾟﾚﾝｺﾞﾑ	

グレーチングをステンレスボルト・ナットで固定する場合は、異種金属間の電気的腐食が発生する可能性が考えられるため、接触面の絶縁処理を行うものとする。

4) 排水管

排水管に使用する材料については、規格証明書で確認するものとする。